

第 5 号

えびなの教育

発行 年 3 回・12500 部
 編集・発行 海老名市教育委員会
 〒243-0492 海老名市勝瀬 175-1
 ☎046 (231) 2111

昨年、新たに伊藤教育長と岡部委員が就任し、海野委員長が再任しました。

新体制としてスタートした教育委員会。海老名市の教育をさらに充実、発展させていくため、より良い施策を展開していきます。



▲写真左から、伊藤文康教育長、海野恵子委員長、平井照江委員長職務代理者、岡部二九雄（ふくお）委員、松樹俊弘委員

《主な内容》

- 2面 インターネット上の
 トラブル・いじめへの対応
 小・中学校に掃除機を導入
 温故館企画展を開催
 野外教育活動支援員を配置
- 3面 H25 全国学力・学習状況調査
- 4面 みんなで予防インフルエンザ
 教育長コラム

教育委員長あいさつ



こうした状況を改善するためにも、家庭・地域・学校の三者が、共通理解を深めながら、各々の役割を果たしていくことが大切と考えております。

また、現在、教育委員会のあり方が全国的に問われる中、教育委員会だけでは処理しきれない行政課題も多く、首長と教育委員会が連携を深めていくことが、ますます重要となってきていると思います。

今後もしる人の教育委員が力を合わせて、学校現場との連携を深めるとともに、保護者の皆さまのご理解・協力をいただき、えびなの子どもたちのために微力ながら、尽くしてまいりたいと思います。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

教育長あいさつ



新年、明けましておめでとうございます。昨年10月17日に、教育長となりました伊藤文康（いとう ふみやす）です。

宮城県出身で、22歳で海老名に来て、その後、杉久保小学校、有馬小学校、上星小学校、市教育委員会、有馬中学校に勤めました。

その間、多くの子供たち、教職員や保護者・地域の方々にお世話になり、自分を育てていただいた心から感謝しております。

今の自分の持ち物は「教育への熱意」だけですが、これまでの感謝の気持ちを、海老名市の教育のために全力を尽くすことで表したいと考えています。

また、えびなの子どもたちの将来に責任を持つという決意で、教育行政に取り組みますので、よろしく願います。



携帯電話
スマートフォンなど

インターネット上のトラブル・いじめへの対応



昨今、多くの人たちが使用している SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）において、市内の小・中学校でも、携帯電話やスマートフォンなど、インターネット機器を介したトラブルやいじめが報告されています。

SNS の中でも特に、通信料金がかからず、限られた人間関係の中で、気軽にコミュニケーションを図ることができる無料アプリケーションが、急速に普及しています。

これらは、誰でも閲覧ができる掲示板などとは異なり、ある意味で「閉じられた」相互コミュニケーションツールであるため、保護者や学校、その他関係機関などの当事者以外が内容を把握したり、トラブルに対応したりすることが容易ではありません。

今回は、利用する子どもたち自身に、危険やトラブルを回避する力を付けさせるため、大人が子どもたちのためにできることを紹介します（右図参照）。

※神奈川県警察ホームページ「暮らしの安全情報」にも、「サイバー犯罪」に関する情報が掲載されていますので、ご覧ください。

大人が子どもたちのためにできること

現実社会でやってはいけないことは、サイバー社会でもやってはいけないと教える

インターネットなどの「使い方」ではなく、「使い道」を親子で考える

インターネット利用者として備えるべき「3つの力」を養わせる

(1) 判断力

情報の正否、危険性の有無などを見極める力

(2) 自制力

誘惑に負けない、周りに流されない力

(3) 責任力

自分の行動について自分で責任を取れる力

【参考】神奈川県警作成啓発チラシ「考えよう！ やってみよう！ サイバー社会で子どもたちを守るためにできること」より

小・中学校に掃除機を導入

～ より快適な環境へ～

市では、このほど小・中学校へ掃除機を導入しました。

これは、「きれいで居心地のよい学校づくり事業」の一環として実施したものです。

掃除機導入のメリットは、ほこりを立てずに清掃できるためアレルギー対策に有効であることや、ほうきで取りきれない細かい砂などの掃除に効果的であることが挙げられます。



（写真：東柏ヶ谷小学校）

導入台数
小学校 84 台
中学校 24 台



28)

電話 2333-4000
分南 1-6-36
名市温故館（国

●場所 海老

説を行います

30分から展示解

時 17時15分

※19日(日)13時

●日時 1月26日(日)まで

めることを目的としています。

ることで、災害に対する意識を高

災の被害状況や、市内で発生した自

これは、海老名市内での関東大震

温故館で企画展を開催しています。

現在、市立郷土資料館海老名市

「災害を語り継ぐ」

海老名市域に起きた自然災害

開催しています

海老名市温故館企画展を



【写真】関東大震災で崩れ落ちた相模橋（宗珪寺所蔵）

野外教育活動支援員を配置



市では、昨年 12 月 2 日から、野外教育活動支援員を配置しました。これは、野外教育活動の円滑な運営と充実を図るため、専門的な知識や技能を持つ支援員を委嘱したものです。

支援員は、野外教育活動施設利用に係る情報収集や活動プログラムの作成・助言など、野外教育活動に関する各種事業に携わります。

- 支援員 渡部秋人（わたなべ あきひと）
- 資格 日本キャンプ協会公認ディレクター2級（PD）ほか

平成 25 年度全国
学力・学習状況調査
海老名市の調査結果



昨年 4 月 24 日、全国学力・学習状況調査が実施されました。

この調査は、子どもたちの学力や生活習慣等の状況を把握するとともに、これまでの取り組みを見直し、改善を図ることを目的としています。

海老名市の子どもたちは、おおむね全国と同様の状況でしたが、今回の結果を基に、学力向上や生活習慣改善の取り組みを、さらに進めていきたいと考えています。

今後も「明るく元気なえびなっ子」の育成に向けて、ご理解・ご協力をお願いします。

◆ 調査対象

市内全小・中学校（小学校 13 校・中学校 6 校）の小学校 6 年生の児童（1223 人）、中学校 3 年生の生徒（1093 人）

◆ 調査内容

- ・ 教科に関する調査（2 教科…国語、算数または数学）
- ・ 生活習慣、学習環境等に関する調査



教科に関する調査の結果

A 問題：「知識」に関する問題
B 問題：「活用」に関する問題

学力調査では、小・中学校ともに、総じて、全国公立学校および神奈川県公立学校の平均正答率と同程度（±5%以内）でした。課題点については、児童・生徒一人一人の学習改善や学習意欲向上につながるよう、さらに指導改善等に取り組んでいきます。

～小学校の調査結果分析～

〔国語〕

- 漢字の読み書きはよく習得できている
- 自分の考えを書くときに、理由や根拠を明確にすることや、効果的な表現に気づいたり、目的に応じて読んだりすることに課題がある
- A・B 問題ともに、テスト後半の問題の無解答率が高く、時間内に解答することや、根気強く問題に取り組むことに課題がある

〔算数〕

- 計算はよく習得できている
- 根拠を明確にして書くことに課題がある
- 記述式の問題で、自分の考えや分かることを言葉で説明することに課題があり、無解答率も高い

～中学校の調査結果分析～

〔国語〕

- A 問題では、おおむね学習内容を習得できている
- 文の接続に注意し、伝えたい事柄を明確に書くことや、分かったことを基に、さらに具体的に書くことに課題がある
- 文章の内容について、根拠を明確にして自分の考えを書く問題で無解答率が高い



〔数学〕

- 基本的な数量や図形などについては、よく習得できている
- 論理的に考察し、表現したり、考え方を深めたりすることに課題がある
- 記述式の問題について、自分の考えや分かることを言葉で説明することに課題があり、無解答率も高い



生活習慣等に関する調査の結果

改善されてきている項目もありますが、課題として残っているものも多く、今後も引き続き、取り組みを進めていく必要があります。基本的な生活習慣の定着は、まずは家庭で実践した上で、学校や地域も一緒になって、根気よく取り組むことが必要です。

朝食の摂取	毎日食べる割合が増加し、改善傾向が見られる	
規則的な就寝	やや改善傾向が見られる	
規則的な起床	おおむねできており、やや改善傾向も見られる	
起床時刻	早起きの傾向が見られる／中3は起床の遅い生徒がいる	
就寝時刻	小6は早寝の傾向が見られる／中3は4分の1以上が午前0時以降である	
睡眠時間	小6は改善傾向にある／中3は7時間未満が増加している	
テレビ等の視聴	改善傾向が見られる／4時間以上視聴している割合もまだ多い	
テレビゲームの時間	増加傾向にあり、3時間以上は小6・中3ともに15%以上である	
携帯電話等の保有率	全国に比べて高く、さらに増加している	
携帯電話等の使い方の約束	意識が高まってきている／「あまり守っていない」「守っていない、または約束はない」が小6で1割弱、中3で2割以上いる	
いじめに対する意識	高まってきている／「決してやってはいけない」という意識が薄い児童・生徒が一部いる	

みんなで予防 インフルエンザ ～今冬も流行しています～

インフルエンザは、11 月上旬ごろから発生し始め、その後、爆発的に流行し、1 月下旬から 2 月までにピークを迎えます。海老名市内でも、昨年 11 月末から流行し始め、小学校では学級閉鎖がありました。インフルエンザの予防には、皆さんの「かからない」「うつさない」という気持ち大切です。手洗いで予防して、かかったらマスクを着用するなど“咳エチケット”を心がけてください。

【参考】厚生労働省HP「今冬のインフルエンザ総合対策」 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/>

**どんな病気？
インフルエンザ**



インフルエンザウイルスの種類

現在、ヒトの世界で流行しているウイルスは 3 種類です（A/H1N1 型、A/H3N2 型、B 型）。ウイルスの違いにより、症状等に大きな差はないと言われています

感染経路

ウイルスは、だ液や鼻水に含まれています。咳やくしゃみをする時、だ液や鼻水が飛散してウイルスが放出され、主に 2 つの経路（下記）で体内に侵入します

- ①飛沫感染…咳やくしゃみで放出されたウイルスを直接吸い込む
- ②接触感染…ウイルスが付着したもの（机、ドアノブ、スイッチなど）をさわった手で、目、鼻、口などに触れる

潜伏期間

通常 1 日～3 日。それ以上の場合もあります



感染期間

発生直前から発病後 3 日程度までが特に感染力が強いとされています

症状

急激な高熱・頭痛・腰痛・筋肉痛・全身倦怠感などの全身症状が発生します。これらの症状と同時か、やや遅れて、鼻水・咽頭痛・咳などの呼吸器症状が現れます

出席停止期間

（学校保健安全法施行規則第 19 条）

発症後（発熱翌日を 1 日目とする）5 日を経過し、さらに解熱後（解熱翌日を 1 日目とする）2 日を経過するまで
※抗インフルエンザ薬の効果で熱は早く下がりますが、ウイルスの感染力はしばらくの間残っています。出席停止期間に従い、感染力が弱くなるまで登校を控えましょう

咳エチケット ～感染拡大を防ぐポイント～

- ◆咳・くしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用する。マスクがない時は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて 1 m 以上離れる
- ◆鼻水・たんなどを含んだティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てる
- ◆咳をしている人に、マスクの着用をお願いする
※咳エチケット用のマスクは、薬局やコンビニエンスストア等で販売する不織布（ふしょくふ）製マスクの使用が推奨されています



教育長コラム ～第 1 回 「しあわせ」～



私は、平成 26 年度から 3 年間の海老名市の教育計画を「えびなっ子しあわせプラン」として考えています。今後、多くの方々と話し合っ、3 月までには、皆さまに、「えびなの教育号外」として、プランの計画を説明します。

子どもは一人一人、奇跡のように生まれてきました。かけがえのない、とても大切な存在です。その子どもたちが、今の生活も含めて、将来「しあわせ」に生きるために学校はあります。自分の夢を叶え、社会の一人として役割を果たし認められ、安全に安心して生活できる力を身に付けるために学校はあります。

また、学校だけではなく、子どもたちが生活する地域も、将来の「しあわせ」のためにあると考えています。

「えびなっ子のしあわせ」のために、学校はもちろん、保護者・地域の大人たちの力を結集して、海老名の教育を進めていきましょう。

子どもたちの笑顔のために、ともにがんばりましょう！



次号の「えびなの教育」は 4 月発行です